



奈川の人口	
令和8年5月1日現在	
総世帯数	291世帯
総人口	542人
男	265人
女	277人
発行 奈川公民館	
発行者 奥原広幸	
編集者 公民館報編集委員会	
印刷 (株)プラルト	

5/3 子安諏訪神社春祭り



▲御神体を神輿に移す神官

奈川文化センター夢の森の正面に鎮座する子安諏訪神社は、今から220年ほど前に創建され、地域の産土神として祀られてきました。春祭りでは、本殿から御神体を御神輿に移し、周辺の町会を巡行します。巡行中は、笛や太鼓による祇園囃子が奏でられ、えぼしひたたれ姿の一行が各町会に到着すると、地域の皆さんは御神輿に手を合わせ、健康と五穀豊穰を祈っていました。



野麦峠の歴史を学ぶ

5/8 奈川小中学校ふるさと学習

今年ふるさと学習は「奈川の歴史上の人物を知ろう」をテーマに、元公民館長勝山裕康さんを講師に、寄合渡から追平にかけて、石碑やお堂を巡りました。講師から、乗鞍岳を開山した大法院明覚、村人たちの盗伐の責を負い割腹して尾張藩に詫びた庄屋の丸山弥七、天宮大明神境内の碑にその功績が刻まれている庄屋・戸長の勝山喜運治のことなどを学びました。



4月6日、中町・蔵シツク館で、野麦峠まつりの広報イベント「野麦峠から世界のシルクへ」が開催されました。会場には、岡谷糸博物館のご協力で当時の製糸工場で働く工女の写真などが展示され、記録映像上映後の岡谷糸博物館高林館長と奈川歴史案内人の勝山裕康さんによる講話に来場者が耳を傾けていました。また、子どもたちの三味線の音色に誘われるように、大勢の外国人観光客も立ち寄りやすくなりました。

奈川獅子 海を渡る

日本・中国・韓国の3か国の都市で、多様な文化芸術イベント等を行う今年の「東アジア文化都市」に、日本では松本市が選出されています。

韓国の開催都市・安東市で5月1日に開かれた開幕式では、松本市を代表し奈川獅子が披露されました。

奈川獅子は、これまで東京、名古屋、鹿児島などでの公演はありましたが、今回は初の海外公演となりました。



一年生を迎える会

4月17日、奈川小学校で「一年生を迎える会」がありました。

この日のために上級生が部屋の飾りつけを一生懸命してきました。特に一年生が座るいすには、お花やキラキラのモールが輝いていました。

全員でかくれんぼや、ゲームをして、遊んで、楽しい時間は過ぎていきました。



春休み 子どもひろば

3月26日、春休み子どもひろばでは「つながり」をテーマに、地域おこし協力隊の三木惣介さんから自己紹介がありました。その中で訪れた外国での経験をクイズ形式にして答え、国によって食べる物も食べ方も違うこと、またお祭りの内容も様々であることを知りました。また、三木さんが書いたプロフィールを参考に、参加した全員が個々のプロフィールを発表しました。

その後は、子どもと大人が混合で3チームに分かれ、白熱のモルック大会。またやりたいね！と笑顔がいっぱいの一日でした。



令和8年度 奈川地区町内公民館4役員名簿

役名	氏名	公民館名
会長	小川 崇夫	三和
副会長	忠地 祐一	入山
会計	奥原 一雄	田ノ萱
監事	池田 善寿	古宿

令和8年度 奈川地区公民館行事予定(主なもの)

予定日	事業名
9月12日(土)	第23回 秋の大運動会
10月31日(土)~ 11月1日(日)	第67回 奈川地区文化祭

※状況により、変更、中止の場合もあります。

野麦路

これまでずっと気になっていたところ、立山黒部アルペンルート雪の大谷ツアーに行ってみました。観光バスで扇沢まで行き、関電トンネル電気バスに乗り黒部ダム駅まで行きます。駅から階段を上ると、黒部ダム随一のパノラマが広がります。日本一高いダムを眼下に見ながら徒歩10分、黒部湖駅からケーブルカーに乗ります。急こう配を走るケーブルカーは、手すりにつかまらないうちで車内で転がりそうになるほどです。次に黒部平駅から立山ロープウェイに乗り、大観峰駅です。

そして、立山トンネル電気バスに10分ほど乗ると、2450m室堂駅に到着。そこから徒歩10分、3000m級の立山連峰の絶景の中に、雪の大谷と呼ばれる「雪の壁」がありました。今年一番高い地点は14m。大型バスの高さを超え、間近で見ると迫力は想像以上！高い山々が見え、その中を歩くと雪がキラキラと光り、夢の中にいる様でした。帰りは、立山から観光バスに乗り富山で海鮮丼を食べ、松本へ戻って来ました。またいつか訪れてみたいです。

(編集委員)